豊田市における公共交通の取組み

一持続可能な地域の移動手段の確保に向けて ―



OVE

豊田市の紹介〜豊田市の印象は?〜





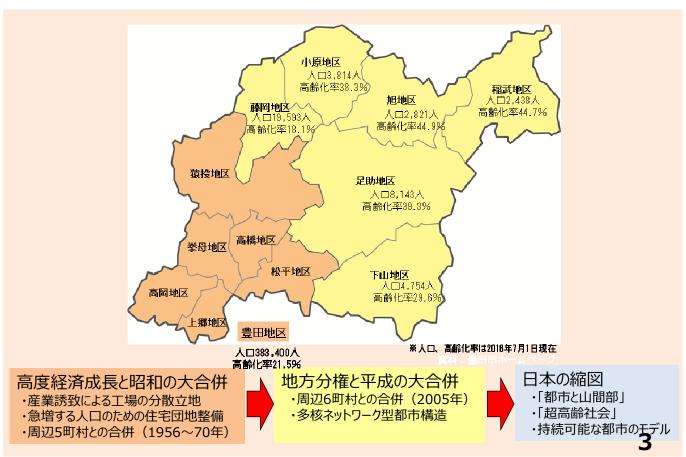
豊田市の紹介 ~豊かな自然をあわせ持つまち~

■市域の7割を森林が占める ■平成17年に6町村と合併 そのほか 9,425ha 総面積 都市近郊部(市域の30%) 62,644ha 農地用 91,847ha 人口:40.1万人(95.0%) 6,917ha 中山間部(市域の70%) 人口:2.1万人(5.0%) ■都市近郊部にも豊かな自然環境 ■豊かな自然・農産物・特産物も豊富 面ノ木高原の樹氷(稲武 夢かけ風鈴(加) 藤の回廊(藤岡) 香嵐渓の紅葉(足助) ラムサール条約登録湿地 ~東海丘陵湧水湿地群~ 2 三河高原(下山) トヨタ本社から7km弱の距離

シンビジウム

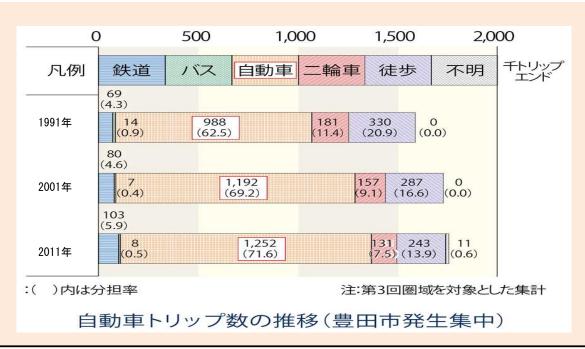


合併により市域が拡大





豊田市交通の現状(代表交通手段分担率)

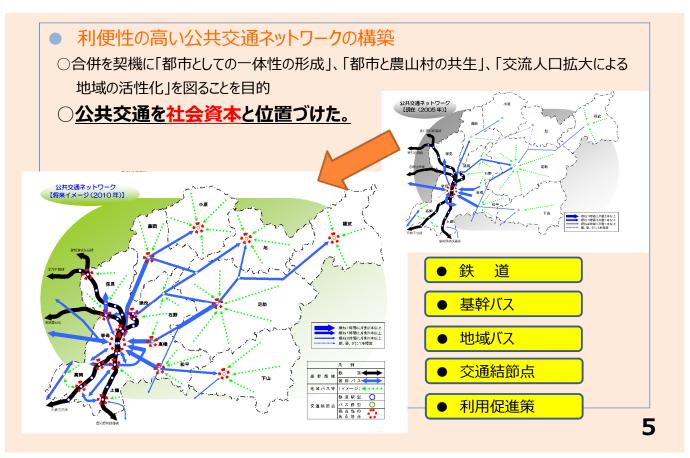


- ○自動車分担率が増加傾向にあり、7割を超えている。
- ○今後も、さらに自動車分担率が増加する見込み。
- ○免許保有率は都市圏平均より高く、特に、高齢者(70歳以上)の保有率が約80%と高い。

資料:総合交通体系調査(豊田市パーソントリップ調査) [2011年(H23年)調査] 4

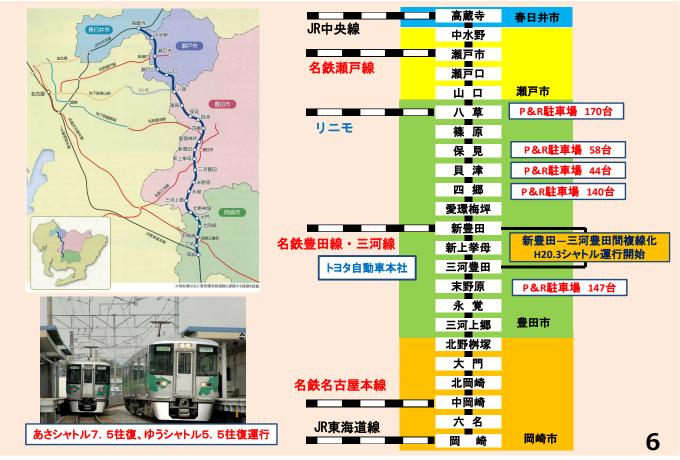


公共交通基本計画の策定 (H19.3)





愛知環状鉄道の輸送力強化





基幹バスと地域バス



藤岡地域バス(ふじバス)

地域バス



I 基幹バス路線の持続可能性の確保

収支率(40%以上必要)路線全体では確保(

⇒ 稲武・足助線 (12.3%)、旭・足助線 (9.9%)

利用率(沿線人口に対する1日利用者数6.1人以上必要)

⇒ 稲武・足助線(4.62人)、旭・足助線(2.97人)

使いやすく魅力ある移動手段に! 観光などでの利用促進、収入率を上げる対策が必要!

Ⅱ 高齢者の移動手段の確保

- ①中山間地域に隈なくバスを走らせるには限界あり
- ②超高齢社会でバス停まで移動が困難な人も
- ③深刻な運転手不足

バス以外の新たな移動手段の確保も必要!

Ⅲ 多様な担い手による「守り・育てる」公共交通

行政だけが旗を振っていても?

公共交通を支えるのは乗っていただく利用者、みなさんで支 えてください!

8



公共交通の利便性向上(シームレス化)

1 公共交通へのICカード導入



H31.3~導入

H28. 3~導入



H28.4~導入

H23. 2~導入

- 2 Googleマップで市内のバス情報が検索可能に(H31.4~)
- ・とよたおいでんバス・地域バス・名鉄バスの 市内32路線が検索可能に!
- · 名鉄バスを含めた大規模なデータ提供は<mark>県内初!</mark>
- ・多言語にも対応

H23.2~導入

- ・国交省「標準的なバス情報フォーマット」を使って、オープンデータ化予定
- バスロケーションシステムと連携し、遅延情報も Googleマップに掲載 (GTFS-Realtime) 6月末~



n

9



魅力あるバス(燃料電池バス)の導入

○トヨタ自動車(株)が開発した燃料電池バスを、 営業路線 (とよたおいでんバス)で実証運行! (全国初の試み)







【第1期】

H22.10~H25.3 豊田東環状線にて愛・地球博での使用車両を PRのため運行

【第2期】

●実証期間: H27年1月からH31年3月まで<u>(実証終了)</u>

●運行路線: H27.1~H27.8 豊田東環状線

※基本データの収集

H27.9~H27.11 藤岡・豊田線(西中山経由)

※登坂路走行

H28.1~H28.10 豊田・渋谷線

※停車間隔の短い路線走行

H28.11~H31.3 土橋・豊田東環状線

※長大路線走行

●とよたエコフルタウンにて水素ステーションを整備

H28.2 水素貯蔵タンク増設&商用として営業開始

H25.5 開設(東邦ガス、岩谷産業)

【実運用開始】

●市販車の燃料電池バスを中部地方で初めて営業運行(R1.7~)

●新型燃料電池バス「SORA」導入(R1.9~)

10

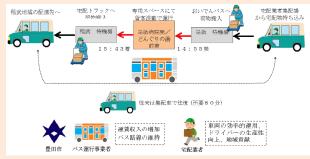


バス事業の生産性向上推進(貨客混載)

1 宅配物の貨客混載(おいでんバス×ヤマト運輸)

中部運輸局「みんなの交通応援プロジェクトEx」第1号事業

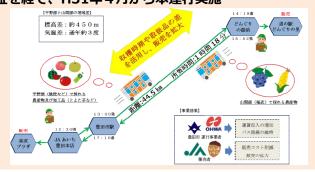
・実証を経て、H30年1月26日から本運行実施(コミバスでは全国初)







- 2 農産物等の貨客混載(おいでんバス×JAあいち豊田×道の駅どんぐりの里)
 - ・実証を経て、H31年4月から本運行実施









観光・レジャー利用(バス×サイクリング)





観光型MaaS実証実験





「観光型MaaS」のモバイルチケット「ENJOYとよたパス」 豊田市内バス+ジョルダン

2019.9月~10月の土日祝日販売 実証(自治体では全国初)













OVIE -&I

高齢者の移動に関する総合対策

今後、高齢者人口が増加する中で、高齢者が<u>『車を運転しなくてもよい環境づくり</u>』と、<u>『安全に車を運転できる環境づくり</u>』の両輪で超高齢社会への適応を目指す。

方針1

車を運転しなくても よい環境づくり

方針2

安全に車を運転できる環境づくり



高齢者移動手段の確保

- 1 高齢者に適した移動手段の 導入及 び普及促進
- 2 バス高齢者割引制度の創設検討
- 3 タクシー助成の見直し検討
- 4 高齢者向けモビリティマネ ジメントの拡大
- *2~3は今後制度設計等を検討予定

安全運転サポート車等の普及啓発

- 1 より安全性の高いクルマへの 買い替えや後付け安全装置の 設置促進
- 2 超小型車への乗り換え促進

14



高齢者の移動手段の確保(タクシー活用)

- ○利用が少なく運行が<u>非効率なコミュニティバスに替えて</u>、一般タクシー利用に 運賃補助制度を導入する方策の有効性を検証
- 〇豊田市の地域バスを対象に、タクシー運賃を補助する仕組みへ移行した場合、 <u>ドアツードアでの利便性向上、適用可能な地域や仕組み、自治体の経費節減効</u> 果について検討





鞍ケ池地域タクシー乗路エリアマップ



〇平成30年度1年間の実証の結果

- ・ドアツードアで高齢者に好評
- ·利用者29%增加、経費86%削減
- · 令和元年度~本運行開始
- ・他地域への展開調整中



高齢者の移動手段の確保(たすけあいカー)

〇中山間地域に暮らす高齢者等が、住み慣れた場所で最後まで暮らせるよう安全で自由 な移動と、地域で安心して暮らせるためのコミュニティの構築

平成28年度~平成30年度まで〈名古屋大学、足助病院、豊田市〉で実証

令和元年度~ 旭・足助地区(実装化)、稲武地区(実証に向けた調整中)





高齢者の移動手段の確保(たすけあいカー)

仕組み

- ○住民の自家用車でボランティアドライバーが住民を運ぶ(会員制)
- ○タブレットのアプリから予約、システムがマッチング
- ○ガソリン代実費のみを地域ポイントで精算(無償運送の位置づけ)





WE SHOW

高齢者の移動手段の確保(たすけあいカー)





高齢者の移動手段の確保(里モビ)

○地域住民自らが超小型モビリティ「コムス」を中山間地域に適した仕様 に改造し、日常の移動用として活用⇒

里モビサークル

平成28年度~30年度 〈東京大学、名古屋大学、豊田市〉で実証







〇里モビ出発式 平成30年1月18日(木)@足助交流館 地域の課題やニーズを踏まえ、地域住民自らが中山間地域に適した仕様に改造した 二人乗り超小型モビリティ(通称 里モビ)が、日本で初めて車両登録の認可を取得。









高齢者の移動手段の確保(里モビ)

O里モビLIFEプロジェクト

こまでの実証で山村地域の高齢者において一定のニーズがあることがわかり、 <u>令和元年度からは、有償で地域の住民に貸し出し</u>、地域での共有の可能性や超小型 モビリティの活用で移動にストレスをかけない(時間をかけない)ライフスタイル のモデルを検証





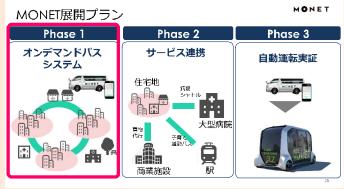
高齢者の移動手段の確保(デマンドバス)

小原地域バス「おばら桜バス」+MONETシステム



平成31年2月~令和元年5月 実証実験(全国初) 令和元年6月~ 本導入に移行







安全運転サポート車等の普及啓発

より安全で、ECOな乗り物を普及拡大させる起爆剤として、 豊田市ではいち早く補助制度を創設。

先進安全自動車購入費補助制度

実施時期:平成28年7月~30年3月

(現在は、普及拡大により廃止)

対象年齢:65歳以上

補助額 : 新車購入1台あたり3万円

補助実績: 2,426台

先進安全自動車とは、自動ブレーキ等を搭載した安全性能が高いクルマ。

後付け安全運転支援装置設置費補助制度

実施時期:令和元年12月~3年3月予定

対象年齢:70歳以上

補助額 : 1台あたり9割補助(上限6万円)

後付け安全運転支援装置とは、自動車の発進時などにおいてアクセルとブレーキの踏み間違いによる、急発進、急加速を抑制する装置

超小型電気自動車購入補助の拡大

実施時期: <mark>令和元年12月~3年3月予定</mark> 拡充

対象年齢:70歳以上

補助額 : 1台あたり7.5万円

(通常の補助は1台あたり3.5万円、70歳以

上に限定し、4万円の上乗せ補助)

超小型EV(コムスの例)

車両本体価格 約88万円、車検、車庫証明、重量税、取得性は不要

電気代約0.5万円/年





27

OVE

豊田市のバス(地域バス)

バス名	許可	運行形態	運行日	車両	利用者数(H29)
高岡地域バス(ふれあいバス)	4条	定時定路線	毎日	バス(小型、中型)	173,638
松平地域バス(松平ともえ号)	4条	定時定路線+デマンド	平日毎日	マイクロバス、ジャンボタクシー	15,744
水源東バス	4条	定時定路線	週2日	ジャンボタクシー	1,794
保見地域バス	4条	定時定路線	週2日	ジャンボタクシー	2,114
鞍ケ池バス	4条	定時定路線+デマンド	週2日	ジャンボタクシー	346
石野地域バス(つくばねコース)	4条	定時定路線+デマンド	週2日	ジャンボタクシー	410
石野地域バス(ささゆりコース)	4条	定時定路線	週2日	ジャンボタクシー	599
石野地域バス(石野交流館コース)	4条	定時定路線	週2日	ジャンボタクシー	699
上郷地域バス(にこにこバス)	4条	定時定路線	週2日	マイクロバス	8,987
稲武地域バス(どんぐりバス)	4条	定時定路線+デマンド	毎日	小型バス、マイクロバス、ジャンボタクシー	7,715
旭地域バス(旭コッキーバス)	79条	定時定路線+デマンド	平日毎日	マイクロバス、ワゴン	2,835
足助地域バス(あいま~る)	79条	定時定路線	平日毎日	マイクロバス、ワゴン	6,693
下山地域バス(しもやまバス)	4条	デマンド	平日毎日	ワゴン	10,109
藤岡地域バス(ふじバス)	4条	定時定路線	毎日	小型バス	38,540
小原地域バス(おばら桜バス)	4条	デマンド	平日毎日	中型タクシー	5,274
	合計				275,497

🙀 高岡地域 ふれあいバス運営協議会



●ふれあいバスの概要

- ▶運行開始:平成12年10月1日
- ▶路線

路線① 明知下公民館⇔若林駅 22.05Km

路線② 上丘町⇔知立駅 16.10km

- ▶運行日:毎日
- ▶運 賃:大人200円/小人100円
- ▶利用者数

173,638人(H29実績)

●ふれあいバス運営協議会

民間バス路線の廃止表明に伴い、平成12 年8月、バスの利用者を確保し地域生活の足 となるバスを運営することを目的に、地区 住民により組織した協議会

- •組織 役員8名、委員54名、相談役1名
- ・総会年1回

(※H30現在)

・役員会毎月1回

24



高岡地域 ふれあいバス運営協議会

◎地域協力金による通学定期券補助

運行する区域内の11自治区が協力金 を負担し、通学定期券の補助を実施。

◎車内広告、時刻表広告の募集



バス車内

○ 高岡公園バスターミナル 環境美化活動



◎バス体験乗車会などPRイベント開催

8,000 22,800 43,200 4,000 11,400 21,600

~前林地区に住んでいる学生のみなさんへ~





◎通学利用促進活動

運行区域の中学校、高校を訪問し、卒業 生、新入生に利用を宣伝、広報

👺 運行事業者との共働事業

●運行事業者との意見交換会

- ・年2~3回開催
- ・運行安全管理、運行改善、イベント開催などで**意見交換**

●運行事業者からの改善提案

- ・平成28年度に実施
- ・<mark>運転手さん</mark>はじめ運行事業者の みなさんから改善提案
- ・251件の提案を受け、順次改善実施
- <提案例> バス停の車イス対応(乗降口の 拡幅)、乗り場のダイヤをわか りやすく P R

●バスの乗り方教室への協力

小学生や高齢者向けにバスの乗り 方教室などを運行事業者と共働実施

H29実績 小学校 8 校で実施





●バス利用検討ワーキング

車いす利用者をはじめとした障がい者、高齢者などが利用しやすい環境を整える。

コミュニケーション 研修の実施(車いす の固定方法、声掛け など)



26



地元高校、高専との共働事業

高校生によるバス乗り場改善

●足助高校バス会議

自分たちが乗るバスについて、利用改善を図りたいと地元高校生の有志で会議をし、市に改善提案

待合環境 改善提言



足助病院バス停並列乗 車の提言 (一般乗客 への配慮)

● 足助病院バス停の利用改善 高校生と一緒に乗り場整備実施 (H31.3月)





高齢者モビリティ・マネジメント

●路線バスを利用した高齢者外出プログラムの開発

豊田工業高等専門学校と共働で高齢者を対象に路線バスの体験乗車会を開催、自動車から公共交通への利用転換の可能性を探る。

表2 体験乗車会及び外出プログラム概要(五ヶ丘5丁目)

9:00~	五ヶ丘第5自治区集会所に集合
	体験乗車会、外出プログラムの説明
9:45	五ヶ丘小学校前バス停へ移動
10:04	豊田市駅行きのバスに乗車
10:28	豊田市駅着
	KiTARA見学、市民活動センターで休憩
12:10	豊田市駅発のバスに乗車
12:35	五ヶ丘小学校前バス停に到着(解散)



